

## 平成28年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「プロジェクト型」の共同研究 研究報告書

平成29年4月1日現在

研究課題名	ポスト・スターリン期のロシア農村における近代化と生活水準に関する研究				
申請者 (代表者)	氏名		所属機関・職		
	野部 公一		専修大学・教授		
研究構成員		氏名	所属機関・職	専門分野	役割分担
	1	野部 公一	専修大学・教授	現代ロシア農業・ソ連経済史	研究総括・農業および農村政策とその影響
	2	松戸 清裕	北海学園大学・教授	ソ連史	農村近代化の対宗教政策としての側面の検討
	3	日臺 建雄	和光大学・准教授	ソ連経済史・現代ロシア経済	コルホーズ市場

## 研究成果の概要

本研究においては、野部は、コルホーズのソフホーズへの転換、コルホーズへの保障賃金制の導入、コルホーズ員への年金制度の導入、農村集落の整備等の農業および農村政策を検討し、コルホーズ員およびソフホーズ労働者の生活水準の変遷を対象として、主に農業経済学に基づいたアプローチにより研究を進めた。松戸は、1950～1960年代における農村近代化の取り組みを対宗教政策としての側面を対象として、西洋史の手法に基づいたアプローチによって研究を進めた。日臺は、ポスト・スターリン期においても大きな影響力をもったコルホーズ市場を対象として、その市場メカニズムの機能を対象として、経済史の手法に基づいたアプローチによって、農民と権力の関係を考察する研究を進めた。

この結果、以下のような知見が得られた。現代のロシアにおいては、農業生産は拡大基調で推移している。このもとで、ロシアは新興小麦輸出国として世界の農産物市場に復帰し、農業・農村の将来は、一見すると明るいように思える。だが実際には、活況は、一部の地域および部門に限定されている。現代ロシアでは、農業とその他の産業部門との間に、圧倒的な賃金および社会的評価の面での格差が発生している。とりわけ、辺境地域の集落においては、唯一の産業である農業生産が衰退し、並行して文化・生活インフラも崩壊してしまったため、住民の大量流出および大々的な集落の消滅が急速に進行している。

これに対して、従来は「農業生産の非効率化が進行した時期」「農民が国家化の進展により雑役

研究成果の概要（続き）

夫化していく時期」とのみ把握されていたポスト・スターリン期（とりわけ 1960 年代以降）は、農業従事者の賃金および農村におけるインフラ整備の度合からみれば、ロシアにおける農村と都市との格差が縮小した時期として、捉えることが可能であることを明らかにした。なお、都市と農村の格差が最小となったのは 1980 年代末であり、経済体制移行の時期は格差拡大の時期とすることができる。

同時に、この時期に格差解消が進んだ要因としては、ポスト・スターリン期における経済刺激の重視への政策転換、熟練カードルの農村への定着の必要性、共産党が掲げる都市と農村の差異の最終的根絶という理念の強調があげられる。

なお、この時期に進行したコルホーズのソフホーズ化が、コルホーズ員とソフホーズ労働者の格差を広く知らしめる作用をしたことも、農村近代化の推進に一定の役割を果たしたことが明らかにされた。さらには、こうした農村近代化は、対宗教政策としての性格をもっていたことも提示された。

#### 主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）

- ・日臺健雄「農業集団化—コルホーズ体制下の農村」（中嶋毅・松井康浩 責任編集『スターリニズムという文明—ロシア革命とソ連の世紀・第 2 巻—』岩波書店、2017 年 7 月刊行予定）
- ・野部公一「農村の近代化と生活水準の向上」（松戸清裕 責任編集『冷戦と平和共存—ロシア革命とソ連の世紀・第 3 巻—』岩波書店、2017 年 8 月刊行予定）
- ・野部公一「農村の近代化と生活水準の向上」（2017 年 3 月 28 日・プロジェクト型共同研究会・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）
- ・松戸清裕「1950～1960 年代のソ連における農村近代化の取り組み—対宗教政策としての側面—」（2017 年 3 月 28 日・プロジェクト型共同研究会・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）
- ・日臺健雄「スターリン期ソ連における市場メカニズムの機能—コルホーズ市場との関連で—」（2017 年 3 月 28 日・プロジェクト型共同研究会兼客員研究員セミナー・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）

#### 当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）

- ・平成 29 年度専修大学研究助成「ロシアにおける農村開発政策の歴史的原点の検討」
- なお、本研究を発展的に継続するため、日本学術振興会の科学研究費を申請することを検討している。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。